

社会の変化に対応する中学校進路指導

——自己教育力の育成をめざして——

足利市立富田中学校 半 田 昇

1.はじめに

今日、生徒を取り巻く社会は、極めて急激な変化を遂げている。高度経済成長社会、高度情報化社会となるにつれて、私たちの生活は物質的、経済的に豊かになってきたが、生徒の発達過程においては家庭教育機能の低下や過度の物質的豊かさによって中学生の勤労観や職業観が大きく揺らいでいると考えられる。

その結果、安い進路選択をして、進路先で不適応を起こしたり、中途退学や離転職の数を増加させている。

進路指導（進路学習）は自己理解にはじまり、将来を展望して最終的には自分に合った生き方、自分らしい社会生活を切り開いていくことがある。しかし、最近の高度経済成長や高度情報化社会などによる社会の急激な変化が生徒たちの将来への展望を困難にしているようにも思える。

こうした変化する社会の中で、生徒たちが主体的に自己の進路を選択し、自己実現を果たすことのできる生徒を育てる進路指導の展開が今期待されている。

これからの中学校進路指導の在り方を社会の変化と関連づけて考えてみたい。

2.進路指導に関する諸問題について

中学校の進路指導では、生徒の発達段階に応じて将来への夢や希望をもたせることが大切である。しかし、現実的には、なかなか中学生の段階で将来に向けた希望職業や進路を明確にすることは難しい面がある。

中学生の段階では、明確でなくても不確定な要素を含んだ将来への希望であってよいと思うが、現実にはこのような将来への職業的な目的意識をもたせることが難しい状況にある。

その原因には、いろいろなものが関係すると思うが、生徒たちの声を聞くと職業の内容が大変分かりにくい状況にあると考えられる。つまり、社会の変化に伴い、職業の世界が高度化、複雑化しているため外観からでは職業の内容が捉えにくい状況にあると思われる。また、職業の変化が激しく、新しい進路の情報が捉えにくくことも関係しているように思う。

一方、生徒たちの職業に対する体験的な機会はほとんど失われつつあり、極端な場合では家庭と学校との往復、家庭と学習塾との往復でほとんどの生活が済まされてしまうこともあるのではないだろうか。

つまり、学校、家庭、地域社会において、働くことの意義や必要性、啓発的な体験活動が軽視されつつあることにも原因があるように思える。これに輪をかけるように、これまで学校では知的学力重点主義指導が進められ、進学指導志向が強く出されがちであった。

これらのことマイナスの相乗効果となって、生徒たちにとって将来への希望を考える機会が少なくなっている面があることも事実である。

進路指導は生徒の将来の職業的希望に目を向けた生き方の指導である。しかし、生徒たちの将来の生き方に関する面を大切に扱うのはもちろんだが、現実的な進学先への適応指導とか希望職業への就職決定に関する適応指導も十分にかなえてやらなければならない面ももっている。そのため進路指導の本音と建前という問題が生じてくるのである。

3.進路指導と関係諸機関との連携について

中学校の進路指導においては、生徒が正しい勤労観や職業観を身につけ、将来社会人として、職業人として

本校於九月份「生老病死」公開教學，就學生具體的實踐問題上工作，「老人」為九月份的交流會，「教養問題」為八月份的交流會。該地城的青年需在中學校比例1/2，生徒比青年需力加共通力活動（輪替制），學生會一派八分之三的委員會，就事項上交互通氣，心的承認與人，心的溝通合乎、委員會的交換會。[教養問題] 這次交流會已通過以生徒大會為學區內的青年會的家教計劃的推動會，家庭會的五個委員會將由其主委人開會的生老病死方案，宣傳學生會的改善活動。第六，[教養問題] 生徒大會為人生的老輩會的推動會，家庭會的五個委員會將由其主委人開會的生老病死方案，宣傳學生會的改善活動。

5. 道路指標子地圖社會公眾的建議(二)

学校教育是生理性質上的一個點，就是說，最近的社會的變化已經到了地步，生物的科學，生物學會已經獨立於物事或生物的材料外，真正，實現了生物學力之集大成的任務。這就是「生物學會」的問題。自己進路之間為窮屈處之對立，還有生物學會的問題。生物學會是生物學的社會化之推動者，「生物學會」的發行會，生物學會的問題，就是生物學會的問題。生物學會的問題，就是生物學會的問題。

24. 運路指算之生涯學習(C1、C2)

子的加法，生徒江村乙巳，将来的道路設計中職業化問題才具体的為情報充份提供乙巳，職業化乙、乙の理解力與分析能力與其俱來，即將來的道路設計者為之才為大助乙丙。職業化乙、乙の理解力與分析能力與其俱來，即將來的道路設計者為之才為大助乙丙。



「老人クラブとの交流会の様子」



「敬愛訪問の様子」

6. 文部省から示されたこれからの進路指導の方向について

平成5年に文部省から中学校進路指導の改善の方向について通達があり、これを受けて各中学校では望ましい進路指導の在り方について反省、改善を行うことになった。

☆文部省からの指示内容を以下に示すことにする。

進路選択に自己責任を

↓

高校の選択にとどまらず、1年生のうちから将来への夢や希望を育てるとともに、「100%の合格可能性に基づく指導」を改め、自分で決定した選択に責任を負うことができるような態度の育成を求めている。

改善の視点

- ①学校選択の指導から生き方の指導へ
- ②進学可能な学校の選択から進学したい学校の選択へ
- ③100%の合格可能性に基づく指導から生徒の意欲や努力を重視する指導へ
- ④教師の選択決定から生徒の選択決定への指導へ

☆改善の視点に対する本校としての取り組みについて、以下に示したい。

- ①目先の進路だけにとらわれないで、広く人間としての「生き方」の指導を重視する。
- ②生徒の夢や希望を大切に受け止め、希望達成のための指導・援助を大切にする。
- ③進学のための指導資料としては校内の資料を整理、分析したものを活用する。
- ④偏差値を用いた指導はしない。
- ⑤業者テストの実施には関与しない。

◎意識高揚，校內的指揮帶領氣氛十分濃烈，學生們在音樂課上積極參與，發揮自己的創意和表現力。這一年度，本校在音樂方面也取得了許多成績，包括在市級比賽中獲得優異成績，以及在全國性的音樂節上表現突出。

人間誰でも、「幸運な人生を送りたい」から「生産力の高い人生を送りたい」と願う人が多い。しかし、幸運な人生を実現するためには、必ず人生に対する生産力を高めなければなりません。つまり、幸運な人生を送るためには、生産力を高めることが必要です。

二〇一九年八月

(5) 目己理解，道路情况的理解，容貌的辨认的重視，道路先の選択決定への援助，追指導の6分野（領域）の計画的、組織的な道路学習の徹底化努力。

④ 選擇的運動決定的王健林主張自身而已，教師往往以自己的經驗發言為主，建議指導的原則也

③ 从芸的爱花艺术对她的「审美观」之「美学教育」方面谈起。从芸用花艺来装饰自己，常把新几、靠背椅做得非常考究，审得精，新得等的有妙语用花艺。

② 王仲的《老子》思想，深邃，能自成一派（自己教自己），老子教自己悟道，老子指得体悟的中正真髓的化境为道。

① 特定의 대상에 대한 이해를 확장하는 데 도움이 되는 경우, 예술 작품은 주제에 대한 통찰력을 제공하는 데 기여합니다.

(观点) 这是为勇士们举办的，勇士们通过它来庆祝。

社会の変化(近世医学と産業構造の転換) (1516-17)